SPI Japan 2021 – ソフトウェアプロセス改善カンファレンス 2021 –
「いかす」 ～新たな時代に“カイゼン”の力を～

セッション1A：プロジェクトマネジメント

プロジェクト健康診断

～社員一人ひとりの心に潜む「不安」を吸い上げ
プロジェクトのトラブル予兆察知と未然防止！～

2021/10/7

TIS株式会社
品質革新本部　品質マネジメント革新部
プロジェクトリスク監理室

守都　智春

© 2021 TIS Inc.

本日お伝えしたいこと

プロジェクトの

問題予兆把握と

問題発生防止の取り組み

について発表します

本発表が、少しでも参考になれば幸いです。

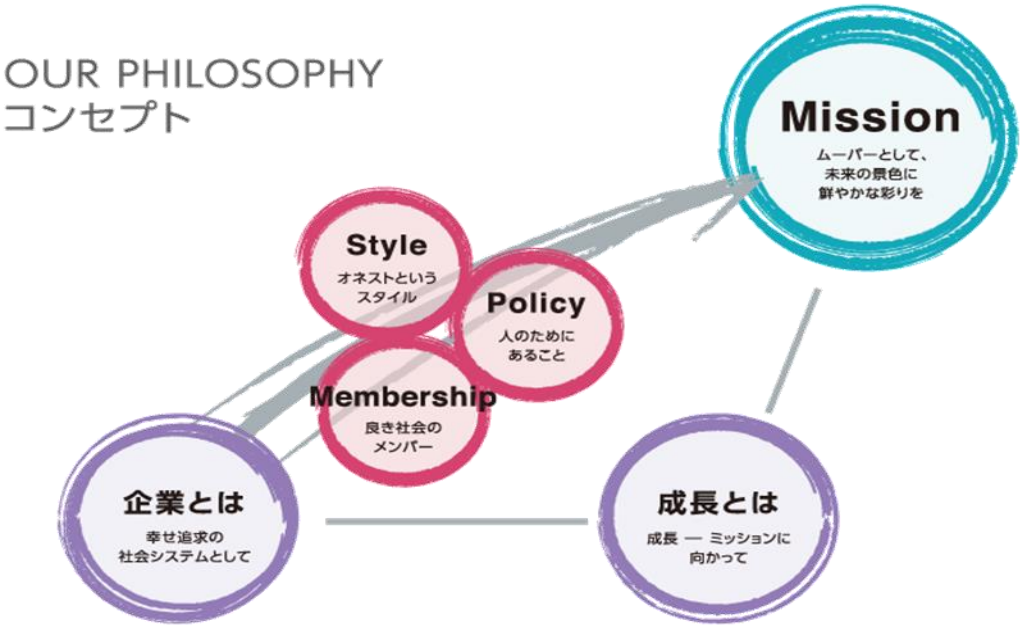
© 2021 TIS Inc.

OUR PHILOSOPHY（TISインテックグループ基本理念）

「OUR PHILOSOPHY」は、ＴＩＳインテックグループの価値観です。
グループの経営、企業活動、役員や社員などの構成員において、大切にする考え方やあり方を幅広く明確化しており、当社グループのすべての営みはこの「OUR PHILOSOPHY」を軸に行われます。当社グループは、社会に対して果たすべき役割として、「デジタル技術を駆使したムーバーとして、未来の景色に鮮やかな彩りをつける」存在を目指してまいります。

Mission（社会に対して果たすべき役割）

デジタル技術を駆使したムーバーとして、未来の景色に鮮やかな彩りをつける



詳しくは右ホームページで公開していますのでご覧ください。https://www.tis.co.jp/group/philosophy/

© 2021 TIS Inc.

TISのご紹介

■ TISの事業紹介

ビジネスを支える基幹システムから、高い競争力を生むアプリケーション、さらにはシステムの基盤となるプラットフォームまで、幅広い業界・分野で最適なITサービスを提供する総合ITサービス企業です。長年にわたって培ってきた経験と技術により、常にお客様の経営課題を把握し、潜在的なニーズを先取りしたITサービスをお届けすることで、お客様のデジタルビジネスに貢献します。

	カード・信販	銀行	生損保	リース	エネルギー	食品・医療	通信	流通・サービス	製造	公共・公益
事業戦略コンサルティング	IT戦略や事業・経営に関するコンサルティングで、企業のビジネス課題を解決します。									
ペイメント	クレジットカードサービスやプリペイド・デビット・QRコードなどのリテール決済サービスの提供、決済プラットフォームの構築・運用で、信頼性の高い決済ビジネスをサポートします。									
デジタルマーケティング										
エンタープライズ										
ITプラットフォーム・セキュリティ	クラウドサービス、セキュリティサービス、データセンター、ネットワークサービスにおけるコンサルティングおよびマルチ環境に対応したマネージドサービスで、企業にセキュアで最適なIT基盤を提供します。									
AI・ロボティクス	AI・ロボットを活用したソリューションサービスの提供や、さまざまな課題解決に向けた新たなテクノロジーやサービスの発掘・研究開発・実用化を推進します。									
R&D（研究開発）	先進的なテクノロジーに関する情報収集や、研究開発、技術検証を産官学と共に進め、新たな事業を創出しています。									

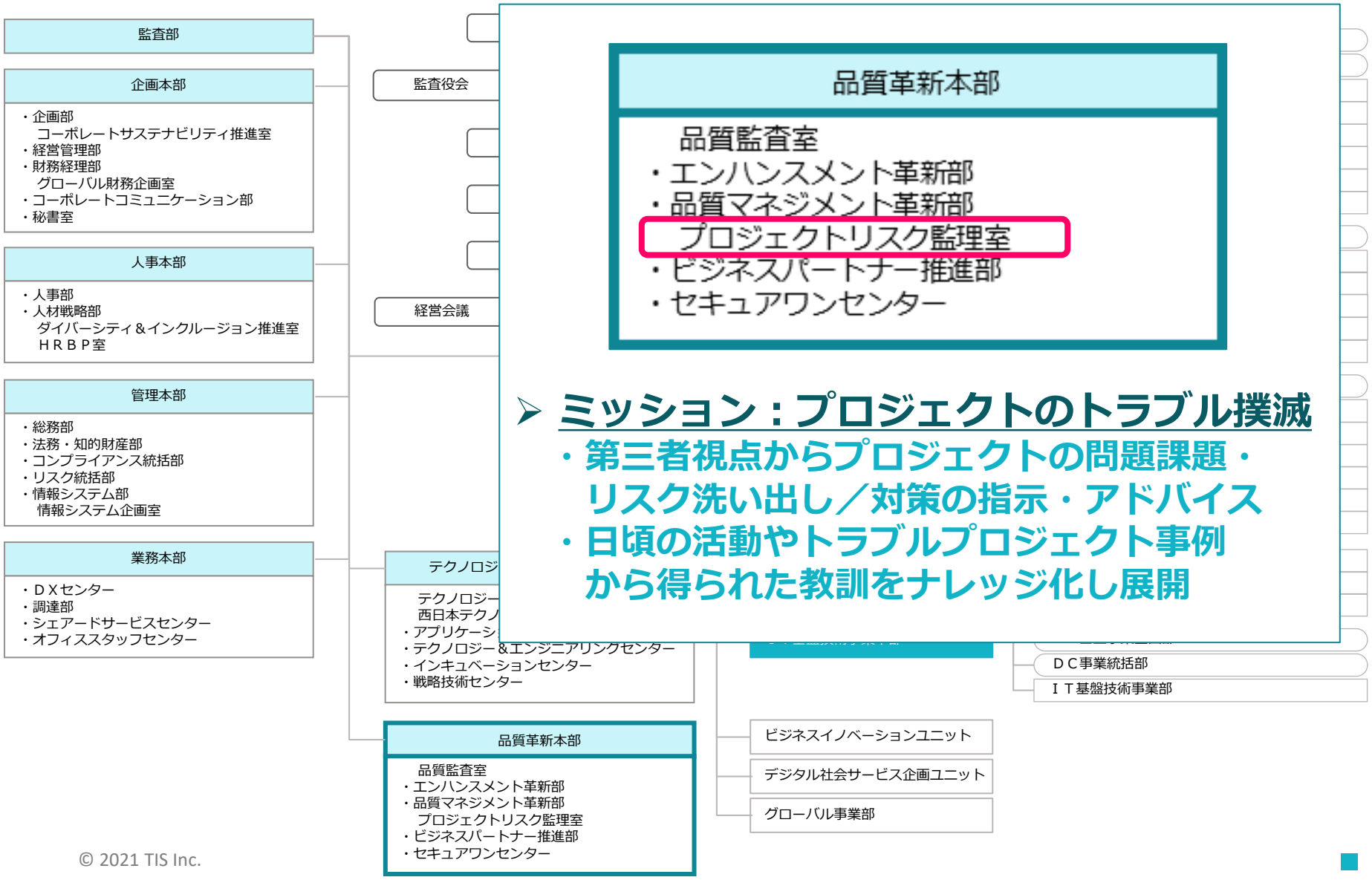
- 多様な業界・事業分野にITサービスを提供
- 大規模~小規模の様々なプロジェクトが存在

© 2021 TIS Inc.

プロジェクトリスク監理室のミッション

■ 会社組織全体像

（2021年4月1日時点）



© 2021 TIS Inc.

自己紹介

守都　智春

TIS株式会社
品質革新本部 品質マネジメント革新部　プロジェクトリスク監理室

プロジェクトのトラブル撲滅に向けた活動を推進
- 全事業系組織を対象に、プロジェクトの状況を監視し、
  トラブル予兆を早期発見・エスカレーション
- プロジェクトマネジメントに関するアドバイス、個別支援
- 上記活動から得られたノウハウの全社展開

など

© 2021 TIS Inc.

1．背景と課題

2．取り組み内容

3．効果

4．課題と今後に向けて

© 2021 TIS Inc.

背景と課題

2015年度上期

TIS
TIS INTEC Group

トラブルプロジェクトを振り返ると・・・

週次の進捗会議やマイルストーンレビュー（事業組織/全社の審査会）など公式の報告だけではプロジェクトの真の状況が分かり難い

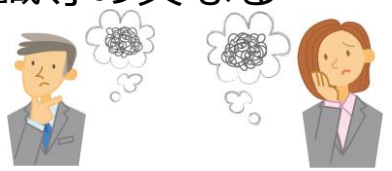
・プロジェクトのリスクや問題課題が薄まって伝わる
・プロジェクトのリスクや問題課題に気付くのが遅れ、対策が後手に回る

「プロジェクトの問題課題やリスクを発見し、是正指示する」という本来の役割が機能していない！
トラブルプロジェクト撲滅のためには抜本的改革が必要

なぜ？

プロジェクトメンバーの中に早く問題に気付いた人がいたとしてもすぐにはエスカレーションに結びつかない

・問題に気付いても、自力で解決すべきことなのか、エスカレーションすべきことなのか、判断が難しい
（普段から個人のクリエイティブな問題解決能力が要求されている）
・問題について認識や評価を一致させることが難しい
技術力や経験、ポジション、リスク感覚や品質意識等の異なるメンバーが、分担して別々の作業に当たっている



© 2021 TIS Inc.

課題の解決策

2015年度上期

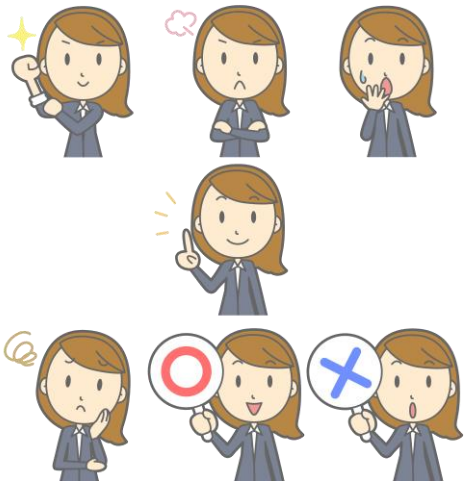
TIS INTEC Group

どうすればよいか？

プロジェクトのありのままの状況を見える化したい

・審査会等、公式の場にはなかなか出てこない問題も、現場のプロジェクトメンバーは知っている
　－トラブルプロジェクトの振返りで、プロジェクトメンバーから「早い段階からプロジェクトがまずい状態にあることに気付いていた」との声が挙がってくる

現場の些細な気づきが的を射ていることもあるのではないか？



プロジェクトメンバー

各自がプロジェクト状況を
どう感じているか

問題の早期発見に役立てたい

プロジェクト健康診断

プロジェクトメンバーの声を直接集めよう！

© 2021 TIS Inc.

プロジェクト健康診断とは

- 定期的なアンケートを行い、プロジェクトに関する「心配」「不安」を主に開発に携わる社員から直接収集
- 回答結果をプロジェクト毎に集計し、プロジェクトの所属部門、更に上位組織及び経営層に展開
- 問題の早期発見、改善／トラブル未然防止活動に繋げる仕組み

プロジェクトや所属部門だけで解決するのではなく、問題内容に応じ上位組織や全社の有識者を巻き込み組織として対応する

3ヶ月毎に実施

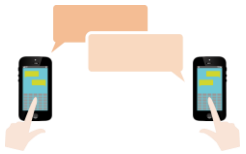
①「プロジェクト健康診断」設問への回答

↓

②回答結果の集計とフィードバック

↓

③フィードバック結果の共有と対策



© 2021 TIS In

1．背景と課題

2．取り組み内容

3．効果

4．課題と今後に向けて

© 2021 TIS Inc.

企画・構築段階の課題と対策

2015年度上期

「プロジェクト健康診断」を行うことで、問題を早く察知できる可能性を感じるものの、本当にうまくいくのか半信半疑

課題

- 「プロジェクト健康診断」結果から**プロジェクトの問題点を見つけること**ができるのか？
- **現場の**プロジェクトメンバーの**負担**にならないか？
- 現場管理者層やプロジェクトメンバーが**賛同してくれる**のか？

「プロジェクト健康診断」の試行を行い、効果を検証する

- 社内e-learningの受講後アンケートに診断項目（24項目）を組み込んで実施
- アンケート診断項目：プロジェクトでよく起こりがちな問題・リスク事象と同じことが自身のプロジェクトで起こっていないか（回答は選択方式）

© 2021 TIS Inc.

試行結果

2015年度上期

TIS
TIS INTEC Group

- プロジェクトメンバーの回答と第三者の認識はほぼ合致
  - **アンケート回答結果はプロジェクトの実態を表している**
  - **認識不一致のプロジェクトは、問題が潜んでいる可能性あり　⇒　詳しく状況確認すると実際に問題が発覚**

①そう思う
②どちらかと言えばそう思う
③どちらかと言えばそう思わない
④そう思わない

	必要な要員やスキルの不足により、納期や品質に影響する				お客様の希望する工期が短く、開発期間に余裕が無い				現工程の完了基準を満たしていないが、できるところから次工程を開始している				品質の評価、分析を十分に行わないまま、次工程に着手している				ＰＪ計画書は作ったが、実際のＰＪ運営と乖離するかもしれない				回答者数
	①	②	③	④	①	②	③	④	①	②	③	④	①	②	③	④	①	②	③	④	
安定しているプロジェクト	5	11	12		1	7	7	13	4	8	16		2	2	8	16	1	3	12	12	28
	18%				29%				14%				14%				14%				
	7	6	2	2	3	6	5	3	6	7	4		6								
	76%				53%				35%				35%								
問題のあるプロジェクト	5	5	1		8	3			4	5	2		4	4	3		6	4	1		11
	91%				100%				82%				73%				91%				
	1	1	2		4				2	2			1	2		1	1	2	1		4
	50%				100%				100%				75%				75%				
認識不一致のプロジェクト	3	2	1		1	3	2		2	1	1	2	1	2							
	83%				67%				50%				50%								
全社計																				431	863

問題指摘が少ない

問題指摘が多い

※詳しく状況確認することにより、
プロジェクトの問題をより早く見つけることができる

© 2021 TIS Inc.

全社展開段階の課題と対策

2015年度上期

TIS
TIS INTEC Group

➢ マネジメントラインが機能していれば新たな対策は不要では？

・過去のトラブルプロジェクトは、全て現場の真の問題発見・対策実施の遅れが原因
　⇒**事業組織と協働した新たな対策が必要**
　⇒プロジェクトメンバーから**アンケートで問題指摘が多く挙がっているプロジェクト**に絞って**状況確認を強化**

➢ 「プロジェクト健康診断」の導入で現場の負担が増えないか？

・**アンケート項目を少数に絞りオンラインで短時間に回答**できるようにする

➢ 「プロジェクト健康診断」を形骸化させない策はあるか？

・**組織長がアンケート結果を現実として受け止め、プロジェクトの問題を解決するための手を打つなら、現場もメリットを感じ定着**する
　⇒「プロジェクト健康診断」の主旨・メリットや組織長/プロジェクトメンバーの果たすべき役割を繰り返し着信する
　⇒アンケートで問題指摘の多いプロジェクトに対する組織としての必須実施事項を定め、仕組みとして定着させる

© 2021 TIS Inc.

プロジェクト健康診断のコンセプト

1．会社全体で取り組む

- 対象者は**「開発に携わる全社員」**（約4,000名）
- プロジェクトの規模や期間に関係なく、**3か月ごとに全社員一斉に実施**
- **経営層および組織長へ取り組みの主旨を繰り返し説明**、会社や組織からの十分な協力が得られるよう**合意形成**を図る
- 「プロジェクト健康診断」の活用方法、組織やプロジェクトの活用事例・工夫点を**情報交換会・勉強会などを通じ定期的に展開**

2．安心して回答できる環境を担保

- **匿名による回答**
- 組織長に対し**取り組みの主旨に反する言動を取らないよう、継続的に注意喚起**
  - **診断結果について個人を特定し責めない**
  - **プロジェクトメンバーの回答統制を行わない**
- ハラスメント、個人攻撃などのトラブルやクレームは品質本部長が直接対応（所属組織長と直接話をし、解決を図る　など）
- 診断結果を人事評価など他の目的で使用することを禁止し全社員に周知

© 2021 TIS Inc.

プロジェクト健康診断のコンセプト

3．形骸化の防止に注力

・診断結果について「対応されている」「放置されていない」実感の醸成
　－**組織長が診断結果を現実として受け止め、プロジェクトの問題解決に積極的に動く**よう、品質本部長が繰り返し働きかけ
・問題指摘の多いプロジェクトは、**組織としての対応状況の報告を義務化**
　－報告内容：プロジェクトの現場確認、対策実施の状況
・早期問題発見と形骸化防止のバランスをとった頻度で実施→３ヶ月ごと

4．現場の負担を増やさない

・アンケートはシンプル、分かり易さを重視して設計
　－**診断項目は10項目**に絞り込み
　－回答は**選択方式中心**
　－プロジェクトメンバー全員が回答できる項目を設定
　　（契約面などプロジェクトメンバーでは状況がよく分からず、
　　回答に悩む可能性があるものは入れない）
　－定性コメント欄の記入は任意
・深く考え込まず、直感で回答するようガイダンス

© 2021 TIS Inc.

アンケート内容

- 現在携わっているプロジェクト
  プロジェクトコードを入力　※携わっていない人はその旨回答（集計対象外）
- 現時点のプロジェクト状況をどう感じているか（下記10項目を４段階評価）
  そう思う/どちらかと言うとそう思う/どちらかと言うとそう思わない/そう思わない
- 定性コメント（ プロジェクトに対する現時点の不安を自由記述）
- 前回診断結果の活用状況

アンケート項目

設問Ｎｏ.	設問内容
1.体制不足	プロジェクトに必要な要 … 品質不良や進捗遅れが生じている
2.計画不納得	具体的で納得できるプロ … または、プロジェクト計画書に従ったプロジェクト運営がされていな
3.管理不足	プロジェクト管理の体制 … 回らず
4.前工程品質不良	前工程までに設計してお … おくべ 進捗遅れが生じている
5.業務難度高	業務要件の難易度が高い … 化するための業務知識や技術力が不足している
6.非機能難度高	性能要件や運用要件等の … 要求するレベルを満たすための技術力が不足している
7.顧客側問題	お客様の意思決定や担当 … の作業に手戻りや進捗遅れが生じている
8.品質ﾌﾟﾛｾｽ不備	納期を優先しているため … 等の品質担保の作業が、疎かになっている
9.納期不安	このままでは納期を守れ … 不安を感じている
10.品質不安	設計成果物やプログラム … 不安を感じている

設問Ｎｏ.
1.体制不足
2.計画不納得
3.管理不足
4.前工程品質不良
5.業務難度高
6.非機能難度高
7.顧客側問題
8.品質ﾌﾟﾛｾｽ不備
9.納期不安
10.品質不安

プロジェクトでよく起こる問題課題・リスク事象をピックアップして設定

© 2021 TIS Inc.

回答結果の集計イメージ

TIS
TIS INTEC Group

➢ プロジェクト毎に集計し、回答者の所属組織長にフィードバック

プロジェクト健康診断(2017年8月) 集計結果

設問No.1~No.10
①そう思う
②どちらかと言うとそう思う
③どちらかと言うとそう思わない
④そう思わない

【凡例】
回答割合が80%以上
回答割合が50%以上

設問No.12
A:プロジェクト健康診断の集計結果をプロジェクトで共有しており、具体的な改善策も実施している
B:プロジェクト健康診断の集計結果をプロジェクトで共有している
C:プロジェクト健康診断の集計結果をプロジェクトで共有していない
D:終了や異動等により、現在は回答したプロジェクトに従事していない

事業部/部門/名寄せキー/PJ名	総計	No.1 体制不足 プロジェクトに必要な要員やスキルが不足しているので、品質不良や進捗遅れが生じている ①+②	No.2 計画不納得 具体的で納得できるプロジェクト計画になっていない、または、プロジェクト計画書に従ったプロジェクト運営がされていない ①+②	…	…	No.10 品質不安 設計成果物やプログラムの品質が悪いのではないかと、不安を感じている ①+②	No.12 結果共有 プロジェクト健康診断の集計結果をプロジェクトで共有し、対策を行っている A	B	C	D	プロジェクトに必要な要員やスキルが不足しているので、品質不良や進捗遅れが生じている ①	②	③	④	具体的で納得できるプロジェクト計画になっていない、または、プロジェクト計画書に従ったプロジェクト運営がされていない ①	②	③	④	…
回答割合が80%以上		80%	80%			80%														
回答割合が50%以上		50%	50%			50%														
全社平均／総計	2650	45%	32%			30%	11%	35%	36%	18%	268	662	872	723	200	575	1056	719	…	
○○事	216	47%	26%	…	…	33%	5%	41%	44%	11%	45	56	84	31	20	36	99	61	…	
▲▲部	5	49%	17%	…	…	32	4%	19%	74%	4%	11	15	23	4	2	7	29	15	…	
	4	42%	16%			28	2%	12%	81%	5%	8	10	21	4	2	5	23	13		
	4	42%	16%	…	…	28	2%	12%	81%	5%	8	10	21	4	2	5	23	13	…	
		100%	50%			50	0%	50%	50%	0%	0	2	0	0	0	1	1	0		
		100%	50%	…	…	50	0%	50%	50%	0%	0	2	0	0	0	1	1	0	…	
		100%	0%			100	0%	0%	100%	0%	0	1	0	0	0	1	0			
		100%	0%	…	…	100	0%	0%	100%											
		53%	42%	…	…	53	0%	42%	58%											
		0%	100%			100	0%	0%	100%											
	1	0%	100%	…	…	100%	0%	0%	100%											

(1)プロジェクト毎の回答集計結果
10個の設問項目の回答結果を
プロジェクト単位に集約

プロジェクト内の「そう思う」「どちらかと言うとそう思う」の回答比率を表示
80%以上の項目：赤マークを付加
50%以上の項目：黄マークを付加

プロジェクト内の設問毎の
回答者数を表示

プロジェクト健康診断(2017年8月) コメント一覧

事業部	部門	PJ名	コメント
○○事	▲▲部	AAA-PJ	パートナーを含めた要員の異動が頻繁に発生するため、知識の継続性が途絶えてしまうことが不安
			要員が工程ごとに変わってしまい説明する工数がかかっている。
			・要員が常に高負荷で、他人をフォローする体制が組めない。 PJ管理が行き届いていない。
		BBB-PJ	メンバスキルやチーム体制の問題で、今後の移行に向けてまた担当替えが必要な話を聞いた。 工程毎のタスクとはいえ、あまり途中でのメンバ変更はやりたくなく、また説明の負荷や認識違いでタスクが増えたり品質が落ちるのではないかと不安。
		CCC-PJ	一部SSの有識者不足 一部SSのマネジメントスキル不足
			テスト・移行計画者の調達計画の完了メド遅延
	△△部	FFF-PJ	強いてあげるなら、開発PJ側の品質が不安。 ただ、そこに対しては色んな人が動いているし、自分自身も動いているので、良い方向に向かっていると思っている。
			品質、ユーザとの要件の認識ずれ

(2)プロジェクト毎の自由記入コメント
定性コメントをプロジェクト単位に集約

© 2021 TIS Inc.

高リスクプロジェクトの識別

TIS
TIS INTEC Group

➢ フィードバック時に、回答の中から
「高リスク項目」と「高リスクプロジェクト」を識別しマーク

◆高リスク項目 ➡ 回答集計結果にマークしてフィードバック

$$\frac{\text{「そう思う」＋「どちらかと言うとそう思う」の回答者数}}{\text{対象プロジェクトの回答者数}}$$

の割合が

80%以上の項目　赤マーク
50%以上の項目　黄マーク

◆高リスクプロジェクト ➡ 組織としての対策の回答を求める

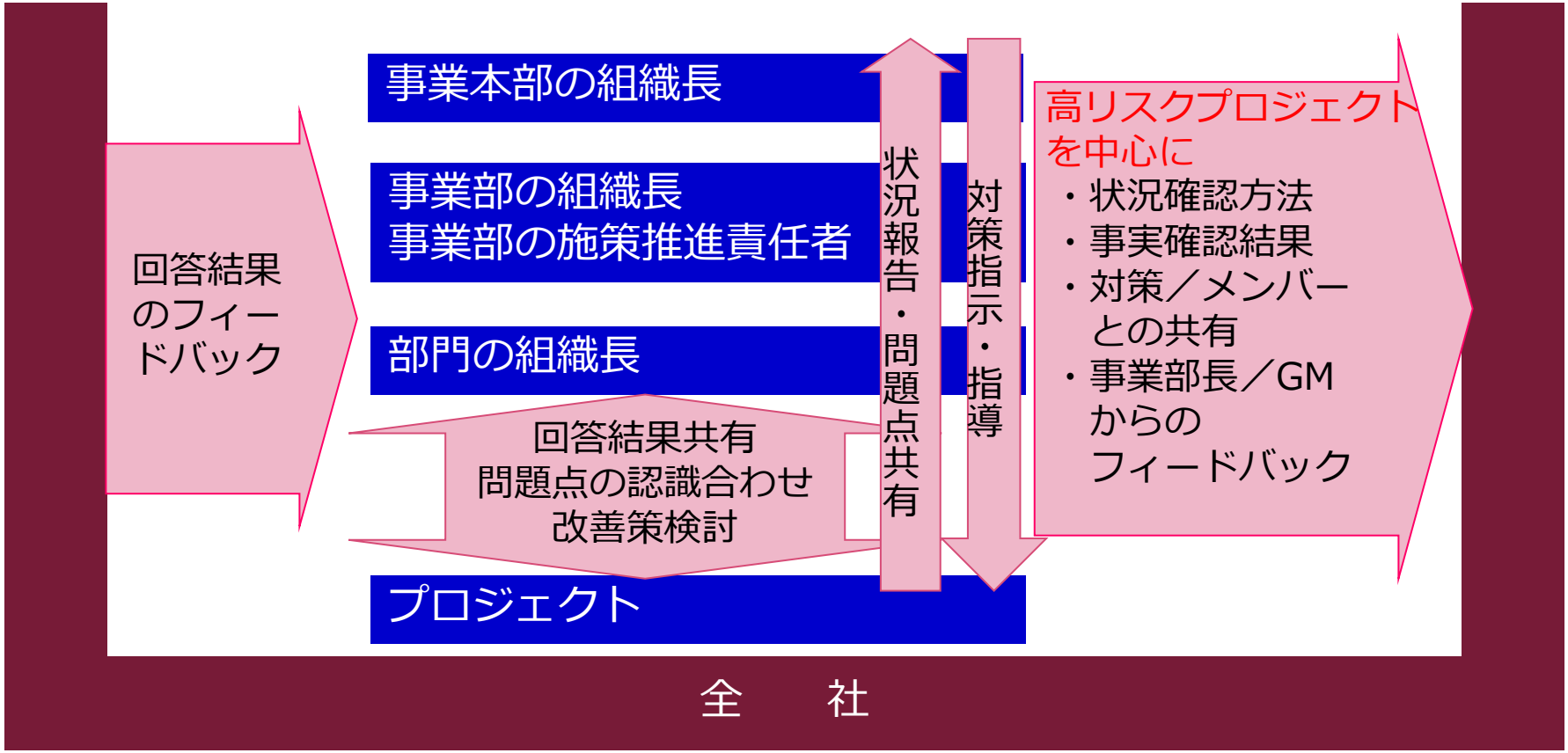
10個の設問項目の回答結果について
赤マーク１つ以上　または　黄マーク5つ以上　のもの

※ただし、同一プロジェクトで3名以上の回答があるものに限る。
（２名以下だと、個人の評価による影響が大きすぎるため）

© 2021 TIS Inc.

フィードバックのイメージ

- フィードバック結果は、部門にてプロジェクトに共有し、問題の認識合わせと対策の検討を実施
- プロジェクト状況の確認結果や改善策は、部門から上位組織に報告し、内容を共有



© 2021 TIS Inc.

1．背景と課題

2．取り組み内容

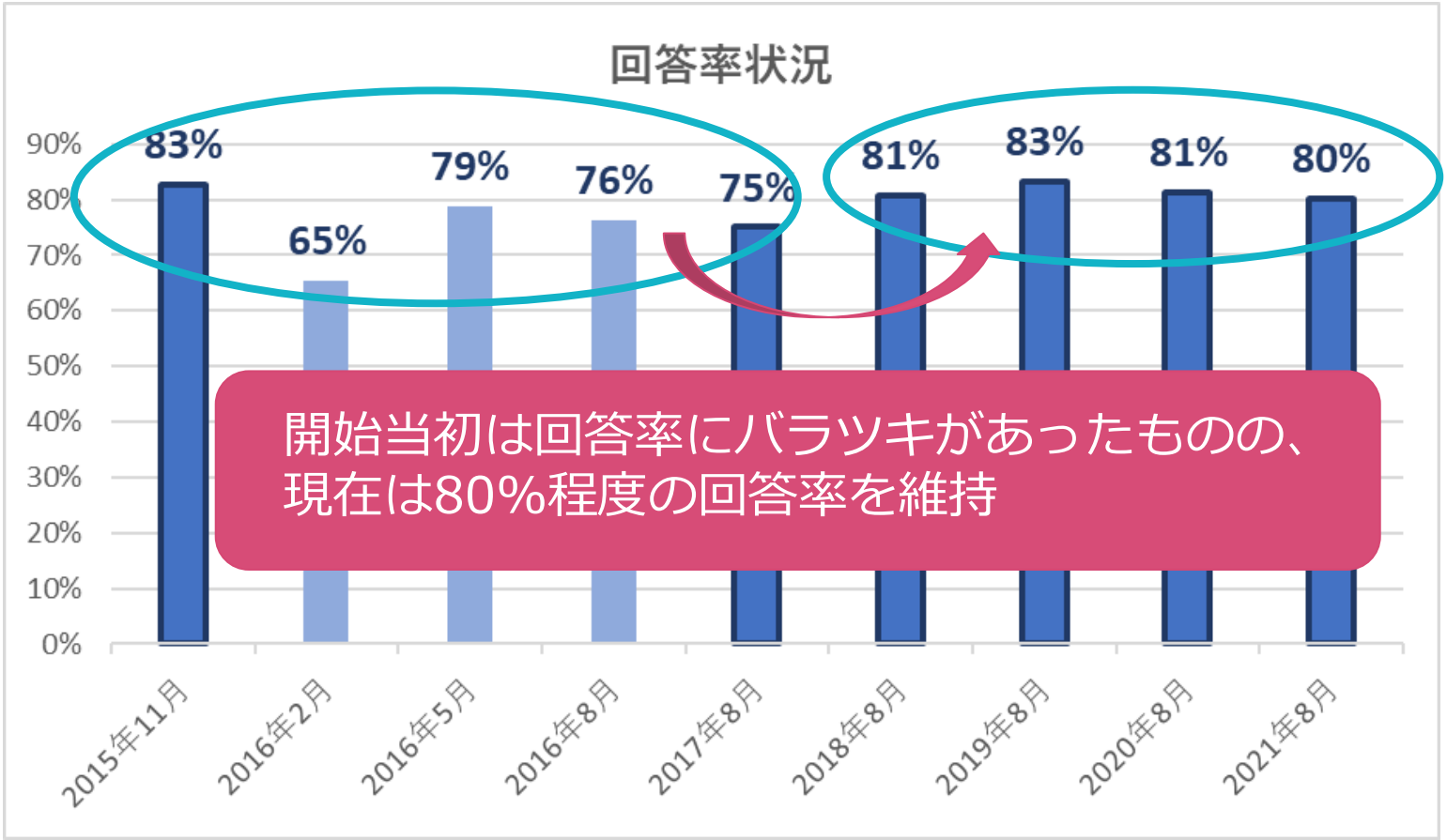
3．効果

4．課題と今後に向けて

© 2021 TIS Inc.

活動実績（2021年9月現在）

- 実施回数　　計24回（2015年11月開始、3ヶ月毎に実施）
- 回答率状況　　**実施当初：65～80%** → **現在：80%前後**を維持
  2021年8月度　3,230/4,030名（80%）
- 集計プロジェクト数　300程度（３人以上回答のあったもの）
  うち高リスクプロジェクト 65～80程度

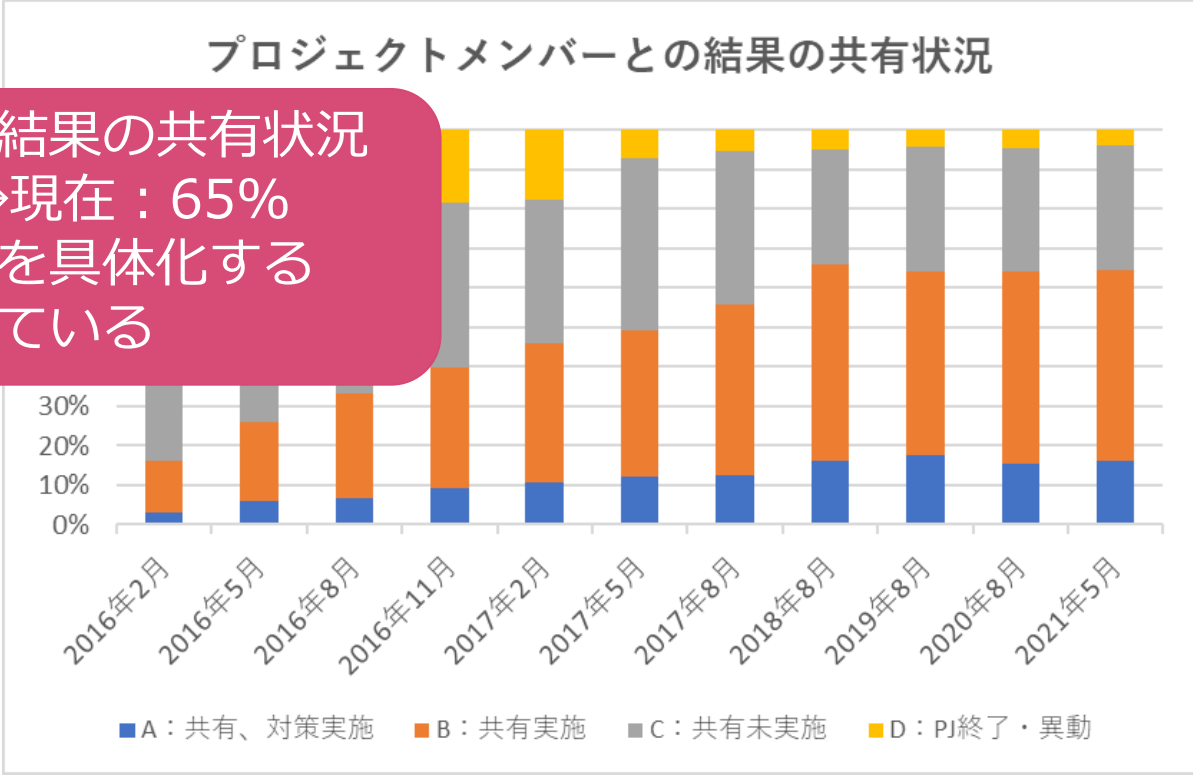


© 2021 TIS Inc.

活動成果（2021年9月現在）

- **現場の実態を捉えるための活動・仕組みとして定着**
  - 認識されていなかった問題プロジェクトの発掘
  - トラブルプロジェクトの改善状況のモニタリング
  - **プロジェクト自身での活用も増えている**
- **高リスクプロジェクト数は漸減**している
  - 実施当初　　**100以上(全体の40%)**
  - 2021年8月度　　**73(全体の22%)**

- プロジェクト内での結果の共有状況
  開始当初：16%→現在：65%
- 結果を活用し改善策を具体化する
  プロジェクトも増えている



© 2021 TIS Inc.

プロジェクトレベルでの活用と工夫

TIS
TIS INTEC Group

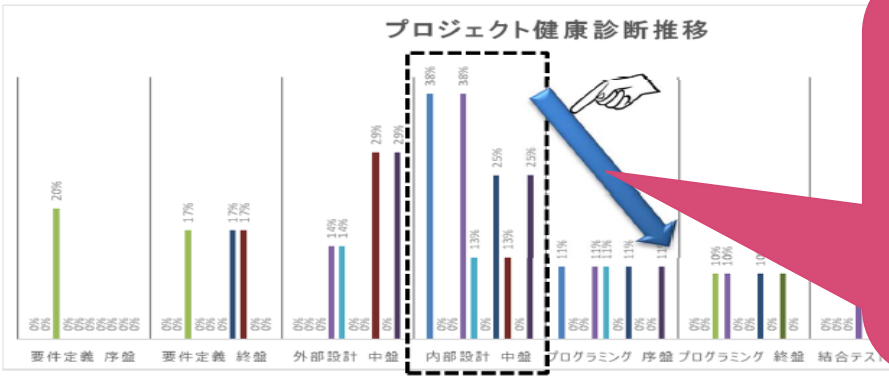
活用方法

- **プロジェクトマネジメントツールのひとつ**として活用
- 「プロジェクト健康診断」結果（主に高リスク項目やコメント内容）から**プロジェクトメンバーが感じている問題や不安**を整理
- 高リスク項目やコメント内容について、**プロジェクトメンバーと状況の認識合わせ、対策の話し合い、対策の実施**
- **次の「プロジェクト健康診断」結果**を見て**対策の効果を確認**
  必要に応じ追加で対策を実施

【プロジェクトによる集計事例】

【プロジェクト健康診断　推移】

実施時期	工程	No.1 体制不足	No.2 計画不納得	No.3 管理不足	No.4 前工程品質不良	No.5 業務難度高	No.6 非機能難度高	No.7 顧客側問題	No.8 品質ﾌﾟﾛｾｽ不備	No.9 納期不安	No.10 品質不安
2018/11	要件定義　序盤	0%	0%	20%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
2019/2	要件定義　終盤	0%	0%	17%	0%	0%	0%	17%	17%	0%	0%
2019/5	外部設計　中盤	0%	0%	0%	14%	14%	0%	0%	29%	0%	29%
2019/8	内部設計　中盤	38%	0%	0%	38%	13%	0%	25%	13%	0%	25%
2019/11	プログラミング　序盤	11%	0%	0%	11%	11%	0%	11%	0%	0%	11%
2020/02	プログラミング　終盤	0%	0%	10%	10%	0%	0%	10%	0%	10%	0%
2020/05	結合テスト　終盤	0%	0%	0%	9%	0%	0%	18%	9%	0%	18%
2020/08	システムテスト　序盤	0%	0%	0%	13%	25%	0%	13%			



＜PMからの意見＞

- **現場からの本音を聞き出す貴重な施策**
- **具体的な対策に繋がる**

- 内部設計工程中盤で「体制不足」や「品質不安」の項目が悪化傾向
- 体制強化・品質対策（全体ウォークスルー等）を実施
- 対策後、状況改善しプロジェクトは安定

© 2021 TIS Inc.

組織レベルでの活用と工夫

TIS
TIS INTEC Group

活用方法

・前回高リスクプロジェクトの改善状況を確認・分析
（**高リスク項目や同じ傾向のコメントが再発していないか**に着目）
・**高リスク状況が継続し改善が見られない**もの → **対策の見直し**

※過去のトラブルプロジェクトでは、対策実施後も「プロジェクト健康診断」結果が改善しなかったため、「プロジェクト健康診断」の内容を精緻に確認

＜事業組織からの意見＞

- **現場の「生の声」として尊重している**
- **組織全体で状況共有されマネジメントが円滑に進むようになった**
- **普段気づかないことに気づくきっかけになり具体的対策に繋がる**
- **「コメントに書けば対応してもらえる」という意識が根付き、具体的な改善提案が記載されるようになった**

最近は

「コロナにより対面コミュニケーションが減ったため、
「プロジェクト健康診断」で意見を収集し改善を図っている」
という意見も！　⇒　働きがい向上に寄与

© 2021 TIS Inc.

プロジェクトリスク監理室での活用と工夫

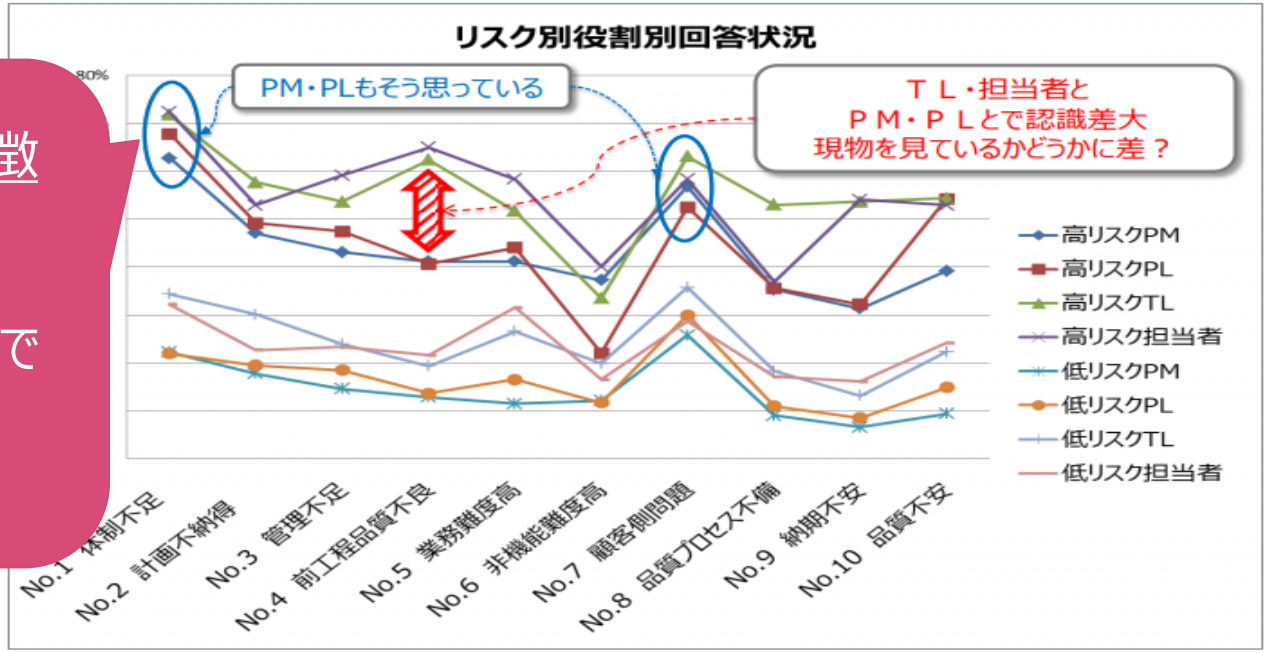
活用方法

- 「プロジェクト健康診断」結果を**プロジェクトモニタリング**に活用
  - プロジェクト状況の客観的把握、問題予兆の早期発見
  - **高リスクプロジェクトの状態が継続**している場合は、**プロジェクトメンバーへ直接状況ヒアリング**
- 「プロジェクト健康診断」結果から得られた**知見を全社に展開**
  - 部門長向け勉強会、PMスキルアップ研修　等

【勉強会の例】

高リスクプロジェクトの特徴
- 「体制」「顧客」の不安が強い
- リーダ層と担当者層で「前工程品質」の認識に差がある

リスク別役割別回答状況から分かること



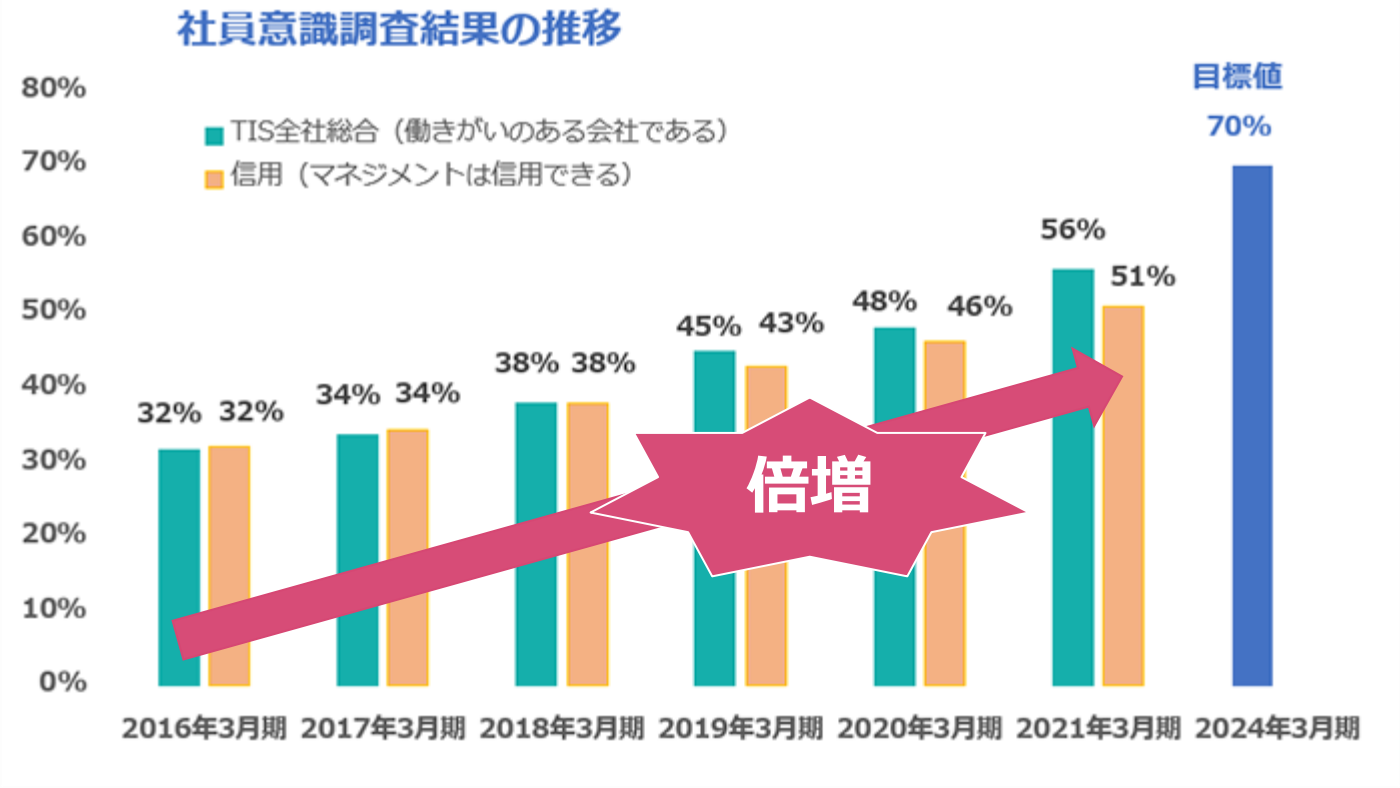
© 2021 TIS Inc.

社員満足度調査

実施当初 働きがいスコア 32 → 現在 働きがいスコア 56

⇒以下のことが、社員の働きがいやエンゲージメントの向上に大きく寄与していると推測

- 社員一人ひとりの「不安」がエスカレーションできる仕組みが確立している
- エスカレーション内容が組織や経営層に届き、実際に対策される



© 2021 TIS Inc.

1．背景と課題

2．取り組み内容

3．効果

4．課題と今後に向けて

© 2021 TIS Inc.

今後に向けた課題と改善点

トラブルプロジェクト撲滅に向けた更なる取り組み

➢ プロジェクトリスクの感度向上

・「プロジェクト健康診断」や既存の取り組みから得たプロジェクトの情報を組み合わせ、プロジェクト状況を多面的・総合的に判断
　－今まで蓄積してきたデータ、知見を一元管理し、様々なデータを簡単に組み合わせて分析できるようにする
・情報活用のブラッシュアップ、事例蓄積、総合的に判断できるスキル向上　など、継続的に改善

➢ 「プロジェクト健康診断」内容見直し・ブラッシュアップ

・アンケート項目の見直し
　－受託開発案件中心→サービス提供型案件も含めた対応
・回答対象者の範囲拡大
　－プロパー社員→パートナーも含めたプロジェクト関係者

© 2021 TIS Inc.

おわりに（気づき）

新たな取り組みの現場展開・定着に重要なこと

シンプルであること

効果が実感できること

継続的な情宣（活用事例、現場の評価など）

© 2021 TIS Inc.

ご清聴ありがとうございました

ITで、社会の願い叶えよう。

TIS INTEC Group